

都市再生整備計画 事後評価シート
箕面市船場東地区

令和8年3月

大阪府箕面市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	箕面市		地区名	箕面市船場東地区			面積	110.0ha	
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施時期	令和7年12月		交付対象事業費	4,698.0百万円	国費率	50%			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	-									
		提案事業	-									
		事業名	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設(市道船場東3号線)	高質空間形成施設事業から道路事業に移行したため。			影響あり					
		基幹事業	公園(都)新船場北公園	市立病院の移転検討の結果、周辺で公園等の利用が可能として、都市計画決定を廃止したため。			影響なし					
		基幹事業	地域生活基盤施設(ベドストリアンデッキ)	市立病院と併せて整備する施設であったため。			影響あり					
		基幹事業	誘導施設(箕面市立病院)	次期計画にて整備することが決定したため。			影響あり					
		基幹事業	誘導施設(仮称関西スポーツ科学・ヘルスケア総合センター)	整備が後ろ倒しになったため。			影響なし					
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道船場東3号線・市道船場東7号線)	高質空間形成施設事業(市道船場東3号線)から道路事業に移行したため。			影響なし					
		基幹事業	道路(市道船場西宿線)	第1期事業(箕面市船場・萱野中央地区)において、実施した工事に付帯する復旧工事等を実施するため。			影響あり					
		基幹事業	道路(市道萱野区画道路1号線)	キスアンドライドや自転車レーンを設けることで、新駅周辺の交通利便性の向上を図るため。			影響なし					
		基幹事業	道路(市道萱野東西線・市道萱野1号線)	新駅の交通結節点強化に伴い、歩道分離や自転車レーンを整備することで、交通利便性の向上を図るため。			影響なし					
		基幹事業	地域生活基盤施設(自転車駐車場)	自転車駐車場に必要な設備を設置するため。(箕面船場東・萱野中央地区の整備計画から移行したもので。)			影響あり					
		基幹事業	地域生活基盤施設(広場) (ポケットパーク)	市街地における道路空間等と一体となった広場を整備するため。			影響なし					
		基幹事業	高質空間形成施設(市道船場東7号線歩道・屋根)	市街地における道路空間等と一体となった歩行者支援施設(駅から病衣へ至る歩道へのシュルターの架設)を整備するため。			影響あり					
基幹事業		高質空間形成施設(エレベーター)	市街地における道路空間等と一体となった移動システム等を整備するため。			影響あり						
基幹事業		高質空間形成施設(市道萱野ベドストリアンデッキ1号線(かやのさんべい橋))	令和5年度末に開業する新駅に接続するかやのさんべい橋の上屋をリニューアルすることで、交通利便性の向上を図るため。			影響なし						
提案事業		地域創造支援事業(箕面市立病院整備検討事業)	箕面市立病院の配置計画を検討するとともに、設計事業者等を募集するための支援業務を実施する。			影響なし						
交付期間の変更	当初	令和2年度～令和6年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			影響なし						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
							モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	公園・緑地のみどりに対する不満度	%	16.8	H29	12.0	R6	13.3	△	あり なし	・駅周辺の整備により、従前値より不満度が減少し、目標値にほぼ近づいた。 ・同地区内に整備予定のポケットパークが令和7年度完成予定であり、整備後の令和8年度以降は更なる改善が見込まれる。	R11年度
	指標2	公共交通の利用者数(鉄道・バス)	人/日	48,000	R2	87,300	R10	81,274	△	あり なし	・箕面船場阪大駅周辺に高層マンション3棟(予定戸数約1,100戸)を始めとする住宅の建設が進められており、一部はすでに入居が始まっているが、本格的な入居は令和8年度以降となる見込みである。 ・同地区内には市立病院の移転が決定しており、病院への通院や通勤などを目的とした利用者が増加することから、今後公共交通利用者数がさらに増加すると見込まれる。	R11年度
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
	その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4) 定性的な効果発現状況	-											
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等					
	モニタリング	北急延伸と周辺まちづくりに関する説明会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● 次期計画(箕面市船場東地区2期計画)においても説明会等で得た意見を事業に反映する。					
	官民連携による取組	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-					
	持続的なまちづくり体制の構築	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			-					

様式2-2 地区の概要

箕面市船場東地区(大阪府箕面市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	目標値	目標値	評価値	評価値	
緑豊かで快適な住環境の構築をめざしたまちづくり ・周辺地域と調和した「緑豊かな住宅都市」としての魅力向上 ・公共交通の環境整備により交通利便性の向上	公園・緑地のみどりに対する不満度	単位: %	16.8	H29	12.0	R6	13.3	R7
	公共交通の利用者数(鉄道・バス)	単位: 人/日	48,000	R2	87,300	R10	81,274	R7

○関連事業

- ・都市計画道路 芝如意谷線
- ・都市計画道路 萱野東西線

■基幹事業 高質空間形成施設
(歩行支援施設、障害者誘導施設等)

- ・市道萱野ベデストリアンデッキ1号線

■基幹事業 道路

- ・市道船場西宿線

■基幹事業、道路

- ・市道船場東3号線・市道船場東7号線

■基幹事業 地域生活基盤施設

- ・広場

○関連事業

- ・軌道の整備

■基幹事業 地域生活基盤施設

- ・自転車駐車場

■基幹事業 高質空間形成施設 (歩行支援施設、障害者誘導施設等)

- ・エレベーター

■高質空間形成施設 (歩行支援施設、障害者誘導施設等)

- ・市道船場東7号線歩道(屋根)

○関連事業 道路

- ・船場西宿線(自由通路)

箕面市船場東地区
(110.0ha)

○関連事業

- ・都市計画道路 萱野東西線

○関連事業

- ・駅前広場 ・駅前複合施設(民間)

■基幹事業 道路

- ・市道萱野東西線・市道萱野1号線

■基幹事業 道路

- ・市道萱野区画道路1号線

■提案事業

- ・箕面市立病院施設配置の検討調査等

○関連事業 箕面市立病院

○関連事業

- ・(仮称)箕面船場阪大ヘルスケア総合センター(民間)

○関連事業 中心拠点誘導施設(図書館)

- ・教育文化施設(図書館)

○関連事業 高次都市施設

- ・地域交流センター

○関連事業

- ・敷地整序型区画整理事業(民間)

○関連事業

- ・鉄道整備

凡例

- 基幹事業 (Yellow box)
- 提案事業 (Blue box)
- 関連事業 (Dashed box)
- 都市再生整備計画区域 (Red line)
- 都市機能誘導区域 (Orange line)
- 関連事業 (Dashed blue line)
- 居住誘導区域 (Blue line)

<p>まちの課題の変化</p>	<p>・船場団地のまちびらきから約50年が経過し、繊維業界の構造変化や不況による組合員企業の事業規模の縮小、経営破綻の増加などによる土地利用の転換などが進み、当初繊維卸業に係る物流・倉庫・業務機能に特化していた土地利用も、近年では一部の用地にて、マンションやパチンコ店が建設されている。船場団地が持つ業務集積地としてのポテンシャルを顕在化し、北大阪最大のビジネス拠点として発展していくための取り組みとして、新産業を創造する新たな都市機能(健康、環境、教育など)の導入が求められている。</p> <p>・「緑豊かな住宅都市」としての本市の都市特性の価値をさらに高めるため、周辺地域との調和に配慮した緑豊かな魅力ある都市景観の保全・充実が求められる。</p> <p>・本地域は、地理的に本市の中心に位置し、国道171号と国道423号の交差する交通の要衝である。さらに、北大阪急行線の延伸と併せて、本地区で行う市立病院や診療所などの医療関連機能の整備や広場等の整備に加え、本地区周辺では、大阪大学の箕面キャンパスや市民ホールの移転新築など新たな都市機能の立地を実施しており、今後の箕面市の都市核となるエリアである。本地区は、箕面市景観計画においても、「箕面の核となる地区」に設定されており、本市の住宅都市としての魅力を発信する先鋭となるべく、それにふさわしい景観に配慮した快適な都市空間の創出が求められる。</p>
<p>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</p>	<p>・船場団地が持つ業務集積地としてのポテンシャルを顕在化し、北大阪最大のビジネス拠点として発展していくための取り組みとして、新産業を創造する新たな都市機能(健康、環境、教育など)の導入が求められており、特に高齢人口の増加が見込まれていることから、健康寿命延伸の拠点となる中核施設として、大規模病院をはじめとした医療施設の整備を進める。</p> <p>・本地域は、地理的に本市の中心に位置し、国道171号と国道423号の交差する交通の要衝である。さらに、北大阪急行線の延伸と併せて、市立病院や診療所などの医療関連機能の整備や広場等の整備に加え、本地区周辺では、大阪大学の箕面キャンパスや市民ホールの移転新築など新たな都市機能の立地を実施しており、新駅を中心とした各周辺施設へ安全で快適にアクセスできる交通路を確保することが求められる。</p>